

検証シートのイメージ・記載内容

※検証は所管課による自己評価として実施

第1期基本計画等検証シート

基本情報	計画	基本計画	分野	1	子ども・子育て支援	基本政策	1	安心して子育てができる
	主管課	子育て支援課			関係課	保育課、子ども未来応援センター、みずほ学園、障がい福祉課		
	5年後の目指す姿		地域全体の理解と協力を得ながら、子育て世代を支えるための支援体制を構築し、子育ての不安を軽減します。					

進捗状況	数値目標		現状値	R3	R4	R5	最新値	R7達成見込	目標値
		富士見市で子育てをすることについて「不安はない」の割合	50.3% (R1)	-	-	-	-	-	達成 / 未達成
基本施策	KPI		現状値	R3	R4	R5	最新値	R7達成見込	目標値
	1	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※小学校入学前の子どものいる方で抽出	59.1% (H30)	67.2% (R3)	-	-	-	達成 / 未達成	64.1% (R7)
	2	保育サービスなどの充実に対する満足度 ※中学生までの子どものいる方で抽出	47.9% (H30)	61.0%(R3)	-	-	-	達成 / 未達成	57.9% (R7)
	3	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※中学生までの子どものいる方で抽出	61.8%(H30)	71.4% (R3)	-	-	-	達成 / 未達成	66.8% (R7)

【1】成果指標の進捗状況

☞数値目標及び KPI の計画期間中における達成見込の確認

- ・数値目標、KPI の進捗状況や計画最終年度（R7年度）における達成見込を記載
- ・R7達成見込は3区分（「達成」・「未達成」・「-」）とする。
- ※「-」は、最新値の取得ができていない等の理由により評価不能場合に使用

評価・分	No.	項目	評価		判断理由
		1	KPIの設定	×	適切 / 適切でない
	2	ロジック	×	適切 / 適切でない	
	3	取組	×	効果的な取組を実行できた / 実行できなかった	
	4	外的要因（ニーズ変化等）	×	影響なし / 影響あり	
現計画期間の振り返り					反省点

【2】進捗状況の要因分析

☞KPI、ロジックモデルの設定の妥当性、効果的な取組の実施の有無、外的要因の影響の有無の分析

- ・以下の4項目について、「適切」・「適切でない」の評価の上、判断理由を記載
- 1：KPIの設定：KPIの数値設定、設定内容は適切だったか。（「適切」・「適切でない」）
- 2：ロジック：基本政策を達成させるための、基本施策以下の組み立ては適切だったか。（「適切」・「適切でない」）
- 3：取組：数値目標やKPIの向上に寄与する効果的な取組が実行できたか。（該当する取組を記載）
（「効果的な取組を実行できた」・「実行できなかった」）
- 4：外的要因：社会情勢の変化等（コロナ、物価高騰等）による影響を受けたか。（「影響なし」・「影響あり」）

分析	現計画期間の振り返り	
	評価すべき点	反省点

【3】第1期計画期間の総括

☞評価すべき点、反省点の総括

- ・現計画期間における評価すべき点、反省点等を記載

次期計画に向けた方向性

【4】第2期基本計画等策定に向けた方向性

☞1～3を踏まえ、次期計画策定に向けた方向性の検討

- ・【1】～【3】で整理した内容を踏まえ、次期計画に向けた方向性を記載
- ※例：成果指標の設定やロジックモデルの見直し、効果のあった事業のさらなる推進、市民ニーズに合わなくなった事業の縮小・廃止 等